

# 大崎市民病院 鳴子温泉分院

令和5年度臨床指標



## 臨床指標とは

臨床指標（クリニカル・インディケーター）とは、病院の機能や診療の状況などについて具体的な数値として示したものです。

臨床指標を分析することで課題や改善点を見つけ出し、医療の質の向上に役立てるとともに、患者さんにとって分かりやすい医療情報を提供することを目的としています。

当院では、本指標の分析と公表を通じて、最適な医療を提供できるよう医療の質の向上に取り組んでまいります。

## 目次

### 病院全体

|                     |   |
|---------------------|---|
| ■ 1 外来延べ患者数         | 1 |
| ■ 2 入院延べ患者数         | 1 |
| ■ 3 新入院者数           | 2 |
| ■ 4 退院者数            | 2 |
| ■ 5 退院先（転帰先）        | 3 |
| ■ 6 在宅復帰率           | 3 |
| ■ 7 平均在院日数          | 4 |
| ■ 8 病床稼働率           | 4 |
| ■ 9 主病名上位           | 5 |
| ■ 10 入院患者年齢層        | 5 |
| ■ 11 入院患者居住地        | 6 |
| ■ 12 入院目的別          | 6 |
| ■ 13 救急車受入れ件数       | 7 |
| ■ 14 2週間以内退院サマリー作成率 | 7 |
| ■ 15 病院満足度          | 8 |

### 医療安全

|              |   |
|--------------|---|
| ■ 16 身体抑制実施率 | 8 |
| ■ 17 転倒転落発生率 | 9 |

### 褥瘡

|              |   |
|--------------|---|
| ■ 18 褥瘡推定発生率 | 9 |
|--------------|---|

### 診療機能

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ■ 19 栄養指導件数                | 10 |
| ■ 20 薬剤管理指導数               | 10 |
| ■ 21 検査件数                  | 11 |
| ■ 22 一般撮影件数                | 11 |
| ■ 23 入院患者1人1日当たりのリハビリ実施単位数 | 12 |

### 地域連携

|                |    |
|----------------|----|
| ■ 24 紹介患者数     | 12 |
| ■ 25 レスパイト入院件数 | 13 |

### 在宅医療

|                    |    |
|--------------------|----|
| ■ 26 訪問診療件数        | 13 |
| ■ 27 訪問看護件数        | 14 |
| ■ 28 訪問リハビリテーション件数 | 14 |

## 1 外来延べ患者数

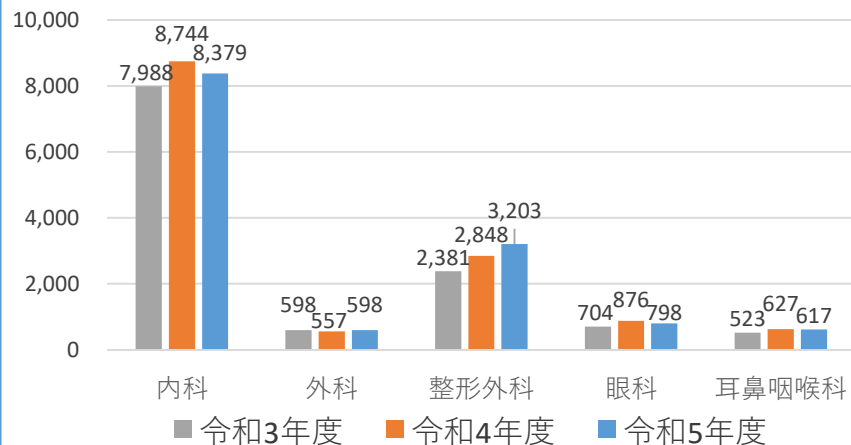
### 指標の説明

外来を受診された患者さんの数を表しています。

### 計算式

初診患者数+再診患者数

外来延べ患者数（単位：人）



### 考察

内科は、この3年間、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、発熱等の患者さんが多く来院されたことにより、患者数が増加しています。

整形外科は、令和5年度から整形外科医師の派遣応援があり、診療日数の増加により患者数が増加傾向にあります。また、眼科、耳鼻咽喉科については、地域内に当診療科が当院だけであるため、多少の増減はありますが一定の患者数で推移しています。

## 2 入院延べ患者数

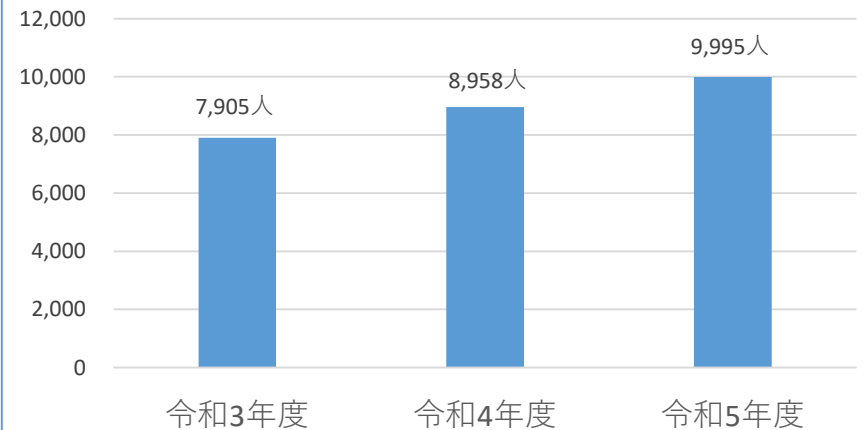
### 指標の説明

在院患者数（24時現在入院している患者さん）と退院患者数を合計した延べ人数を表しています。

### 計算式

在院患者数+退院患者数

入院延べ患者数（単位：人）



### 考察

令和2年度から地域包括ケア病床を段階的に増床してきましたが、それに合わせて、患者数も延びてきました。

これは、高齢化の進展などによる地域の医療需要と地域包括ケアシステムにおける地域包括ケア病床の医療機能がマッチしていると考えます。

これからも、地域の医療ニーズに合わせ、適切に医療提供できるよう体制の構築に努めてまいります。

### 3 新入院者数

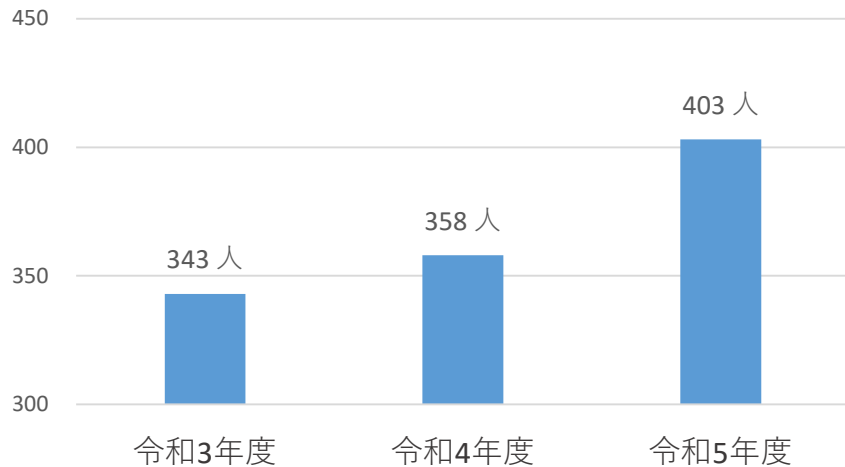
#### 指標の説明

新たに入院された患者さんの数を表しています。

#### 計算式

入院ごとにカウントした患者数

新入院数（単位：人）



#### 考察

地域のかかりつけ医及び本院後方支援機能として、本院との機能分担及び連携を図ってきたことにより、本院で急性期医療を経過して、状態が安定した患者さんがリハビリテーションや在宅復帰を目的に当院に転院される患者さんが増加してきています。

### 4 退院者数

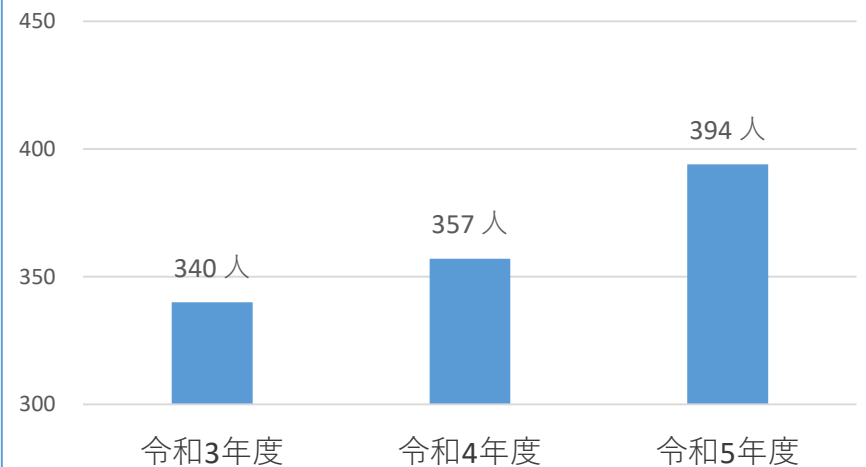
#### 指標の説明

退院された患者さんの数を表しています。

#### 計算式

退院ごとにカウントした患者数

退院数（単位：人）



#### 考察

入院患者数に比例して退院する患者数が増加しています。

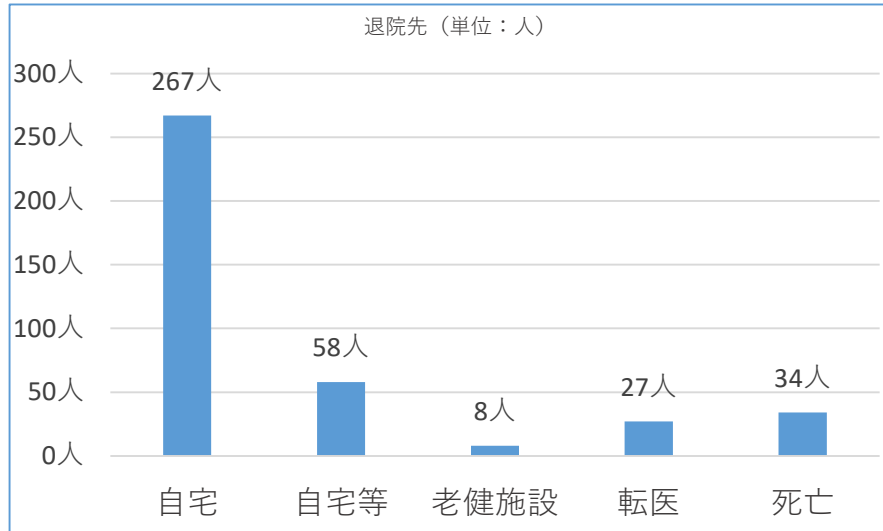
## 5 退院先（転帰先）

### 指標の説明

当院に入院された患者さんにおける退院先（転帰先）の患者数を表しています。  
\*自宅等とは、居宅系介護施設等をいい、自宅扱いとなります。

### 計算式

退院先別の入院患者数



### 考察

総退院患者の約8割の方が自宅及び自宅等に退院しております。ご希望の療養先に退院できるように支援いたします。

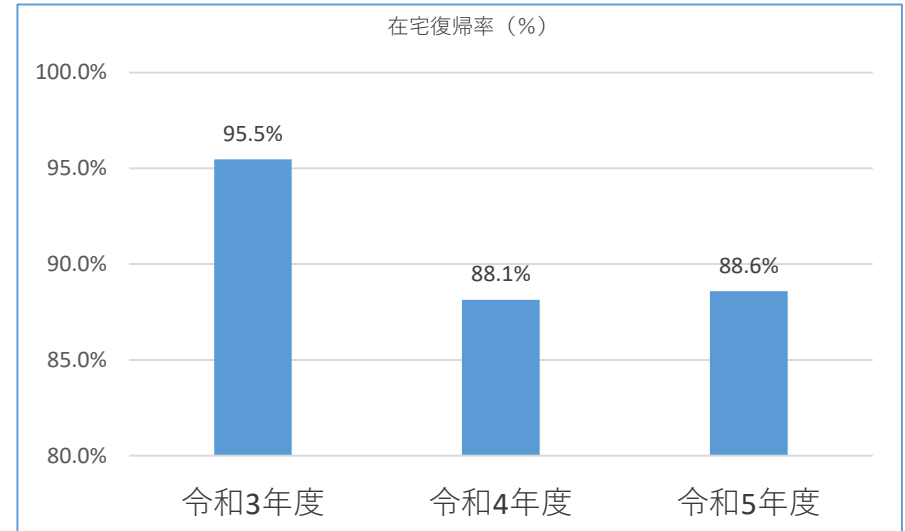
## 6 在宅復帰率

### 指標の説明

退院患者に占める、自宅等に退院するものの割合を示しています。ここでは自宅だけでなく居宅系介護施設等へ直接退院した場合も在宅復帰されたこととなります。

### 計算式

退院先が「自宅等」の患者数÷退院患者数×100  
\*ただし、死亡退院、再入院の患者は分子分母から除く



### 考察

入院日から退院後の生活について希望や要望を伺い、入院中は2週間に1度、ご本人・ご家族・関係機関などとカンファレンスを行い、不安なく退院できるよう支援しております。

## 7 平均在院日数

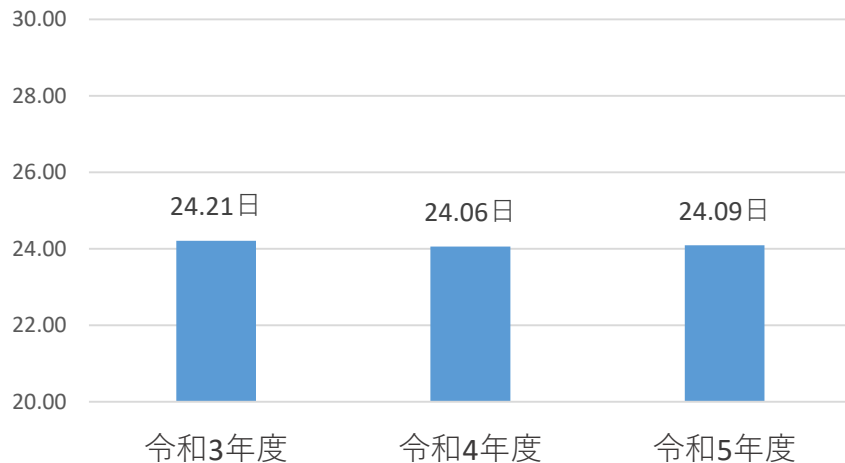
### 指標の説明

患者さんが入院してから退院するまでの日数を平均して算出したものです。平均在院日数は、病棟の回転率や入院診療の効率性を示す指標です。

### 計算式

在院患者延べ数 ÷ (新入院患者数 + 退院患者数) × 1/2

平均在院日数 (単位: 日)



### 考察

地域包括ケア病床に移行後、安定した稼働により、大きな増減の変化がなく推移しています。地域包括ケア病床は60日まで入院が可能となっておりますので、その期間の中で、適切な医療とリハビリテーションの提供により、在宅復帰を目指します。

## 8 病床稼働率

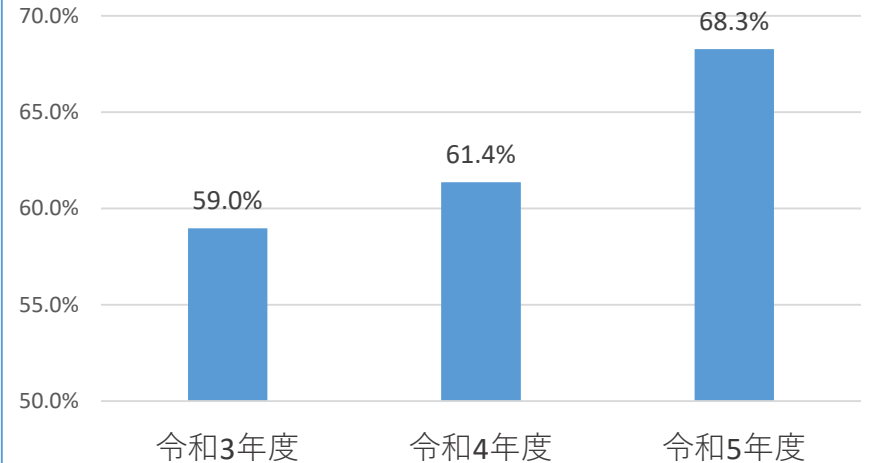
### 指標の説明

病床がどの程度効率的に稼働しているかを示す割合です。100%に近いほど空床がない状態で病床が利用されていることになります。当院は80%を目標にしています。

### 計算式

(延べ入院患者数 ÷ 稼働日数 × 稼働病床数) × 100

病床稼働率 (単位: %)



### 考察

令和5年度に常勤医師配置により2名から3名体制となり、地域のかかりつけ医として、また、本院の後方支援として積極的に受け入れをしてきたことで、稼働率が上昇してきています。

## 9 主病名上位

### 指標の説明

当院に入院された患者さんにおける主な疾病について、症例数で上位10種類を表しています。  
(合併症や複数の治療の場合は、最も治療を要した重い疾病をとりあげています。)

### 計算式

過去3か年の上位疾病症例数

|     | 令和3年度      |     | 令和4年度     |     | 令和5年度     |     |
|-----|------------|-----|-----------|-----|-----------|-----|
|     | 症例名        | 症例数 | 疾病名       | 症例数 | 疾病名       | 症例数 |
| 1位  | 脱水症        | 27件 | COVID-19  | 23件 | 尿路感染症     | 19件 |
| 2位  | 心不全        | 21件 | 脱水症       | 21件 | 脱水症       | 18件 |
| 3位  | 脳梗塞        | 17件 | 心不全       | 19件 | 腰椎及び骨盤の骨折 | 16件 |
| 4位  | 肺炎、病原体不詳   | 16件 | 大腿骨骨折     | 18件 | COVID-19  | 16件 |
| 5位  | 尿路感染症      | 13件 | 脳梗塞       | 15件 | 熱中症       | 16件 |
| 6位  | 腰椎及び骨盤の骨折  | 12件 | 肺炎        | 15件 | 大腿骨骨折     | 15件 |
| 7位  | 誤嚥性肺炎      | 12件 | 腰椎及び骨盤の骨折 | 10件 | 脳梗塞       | 14件 |
| 8位  | 前庭機能障害・めまい | 11件 | 高血圧症      | 9件  | 心不全       | 14件 |
| 9位  | 大腿骨骨折      | 11件 | 誤嚥性肺炎     | 9件  | 肺炎        | 9件  |
| 10位 | 本態性高血圧症    | 10件 | 前庭機能障害    | 7件  | 誤嚥性肺炎     | 7件  |

### 考察

令和4年度、令和5年度は新型コロナウイルス感染症患者の入院が多くありました。また、令和5年度は猛暑の影響により熱中症で体調を崩される患者さんが多くいらっしゃいました。その他では、整形外科領域疾患の入院が多くありました。

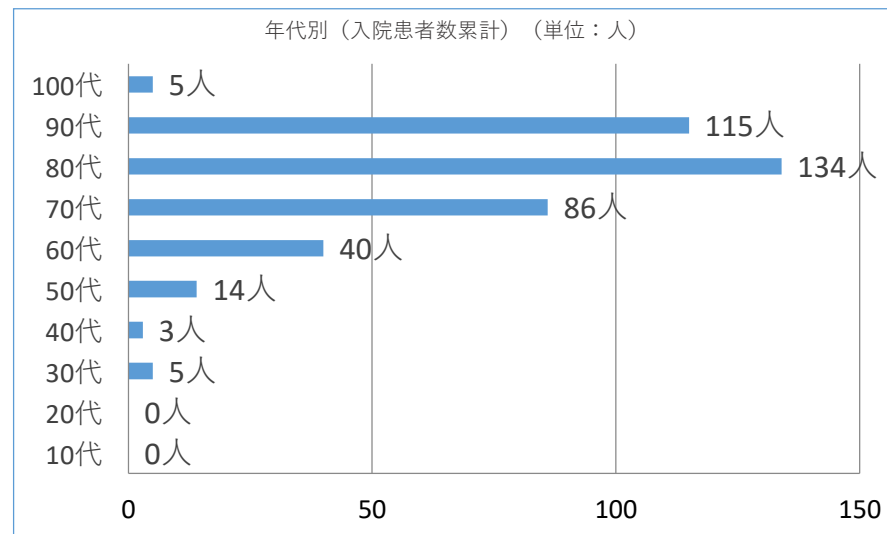
## 10 入院患者年齢層

### 指標の説明

当院に入院された患者さんにおける年代別の患者数を表しています。

### 計算式

年代別入院患者数



### 考察

高齢化率の高い地域性を反映して、70～90歳代が8割以上を占めています。

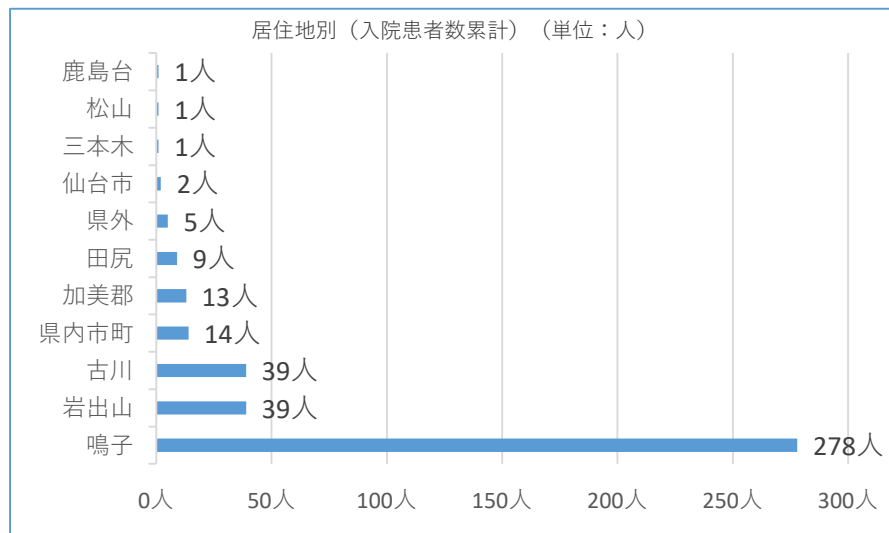
## 11 入院患者居住地

### 指標の説明

当院に入院された患者さんにおける居住地別の患者数を表しています。

### 計算式

居住地別入院患者数



### 考察

鳴子温泉地域のかかりつけ医の役割を担っているため、約7割が鳴子温泉地域の方です。岩出山・古川地域の方で約2割、その他の地域の方が約1割の入院となっております。

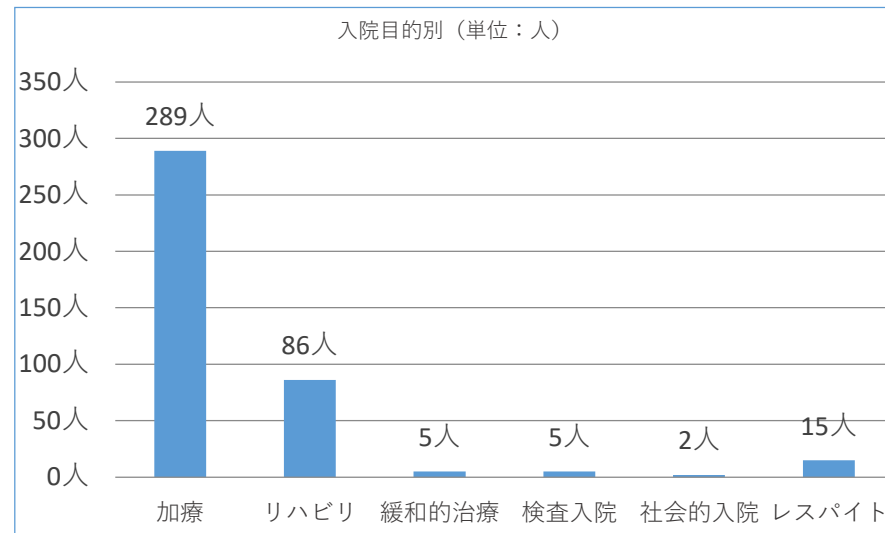
## 12 入院目的別

### 指標の説明

当院に入院された患者さんにおける目的別の患者数を表しています。

### 計算式

入院目的別の入院患者数



### 考察

「加療」と「リハビリ」が入院の主な目的となっております。安心して自宅等に退院できるよう十分な「加療」と「リハビリ」を提供しております。



## 13 救急車受入れ件数

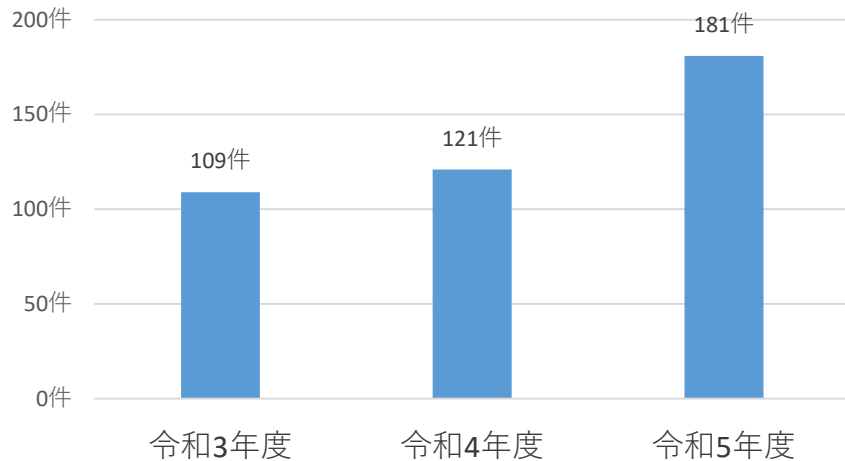
### 指標の説明

当院に救急搬送された患者数（直接来院含む）を表しています。

### 計算式

救急搬送の延受入件数

救急車受入れ件数（単位：件）



### 考察

令和5年度から常勤医師が3名体制となったことにより、件数が大幅に増加したものと考えます。  
これからも地域の安心に繋がるよう救急受入体制の構築に取り組んでまいります。

## 14 2週間以内退院サマリー作成率

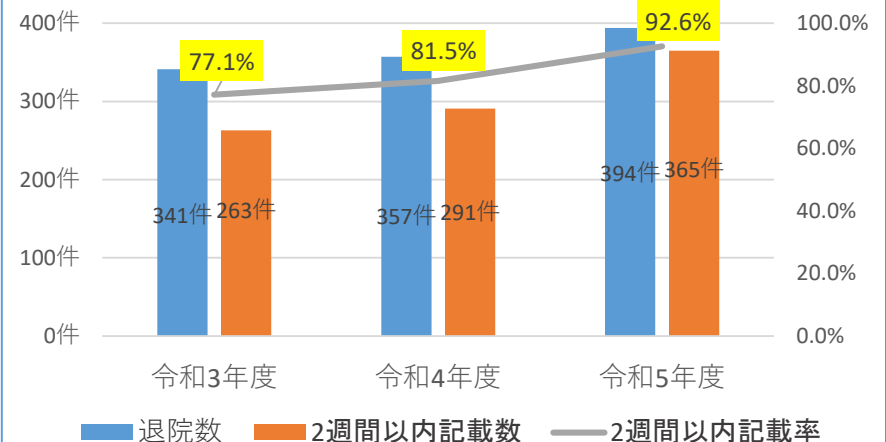
### 指標の説明

退院サマリーとは、診療記録のひとつで、入院患者さんの入院から退院までの治療内容と経過等を要約し、医師が作成する書類です（英語で要約のことをサマリーといいます）。その書類の2週間以内の作成数を表しています。

### 計算式

退院翌日から数えて2週間以内のサマリー作成数÷退院数

退院サマリー2週間以内記載率（単位：件・%）



### 考察

当院では2週間以内に100%作成されることを目指しています。  
退院サマリーを確実かつ早期に作成することは、切れ目ない医師間の連携のためだけでなく、医療の質向上にとても有益です。退院してからの経過日数に応じ、医師へ作成を促す対策を講じており、年々記載率は向上し、一定の高い水準を保っております。さらなるチーム力向上とともに、高い記載率の維持に繋げていきます。

## 15 病院満足度

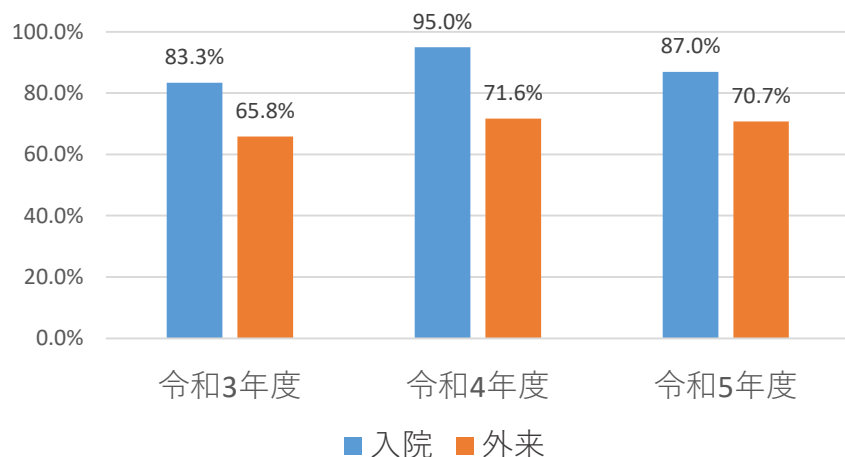
### 指標の説明

患者や患者家族を対象に施設や設備、受付、会計、医師をはじめとしたスタッフの言葉づかいや態度等、診療全般に対する満足度調査において、その有効回答のうち、「満足」「ほぼ満足」と回答いただいた数の割合を表しています。この調査では、満足度を5段階評価で調査しています。

### 計算式

入院：「満足」「ほぼ満足」と回答した人数÷有効回答者数  
 外来：「満足」「ほぼ満足」と回答した人数÷有効回答者数

患者満足度（単位：％）



### 考察

患者さんなどへの説明や対応について、感謝の言葉など多数いただき、高評価となった一方で、診察や会計などの待ち時間は低評価となりました。曜日・時間帯の予約枠数の見直し等を引き続き検討していきます。

## 16 身体抑制実施率

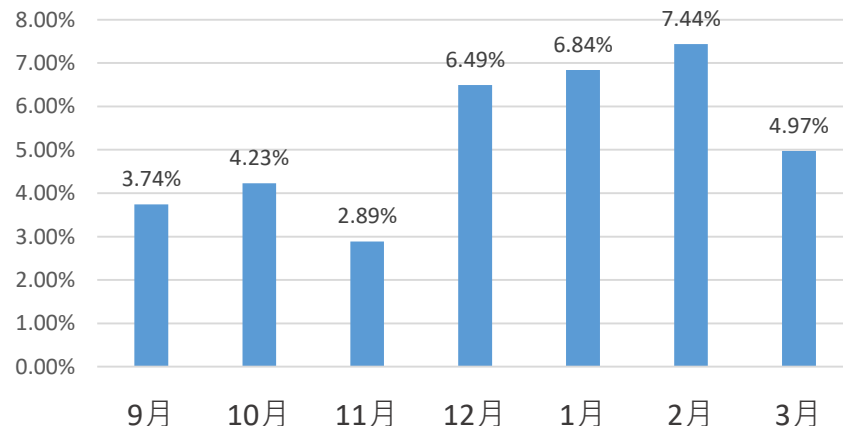
### 指標の説明

身体抑制は人間の尊厳に係わる重大な問題であることを認識したうえで、安全確保のためにやむを得ない場合の対応です。入院患者延患者数のうち身体抑制を実施した患者延べ数の割合を示します。より低い値が望ましい値になります。

### 計算式

身体抑制を実施した患者延べ数÷病床入院延べ患者数

身体抑制率（単位：％）



\* 同機能病院 実績値 R5年10月～12月 10.89%

### 考察

対象患者にとって適正で必要最小限の身体抑制を行い、各勤務帯で「身体抑制観察チェック表」を用いて観察、評価を行っています。身体抑制を早期に解除できるように、多職種で話し合いを行い、継続の必要性や身体抑制の方法・期間は適切かなど、毎日評価しています。また、看護師やリハビリスタッフの見守りが可能な時間は解除しています。

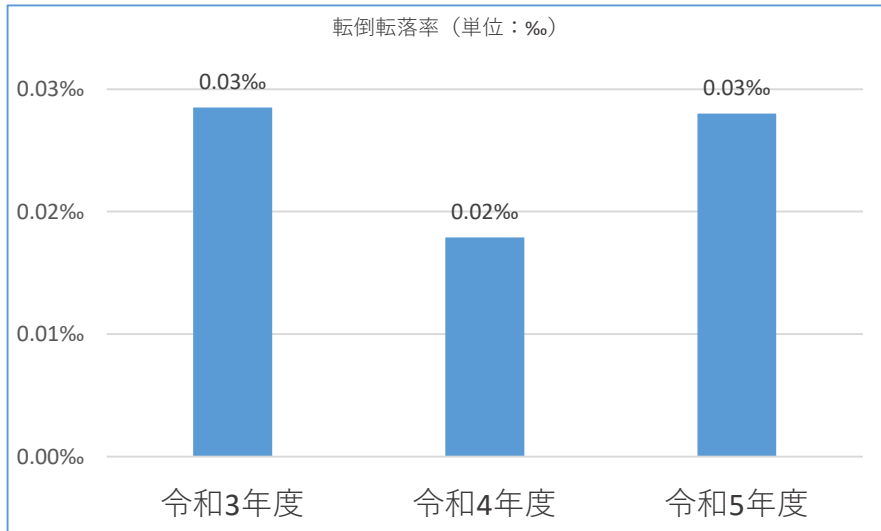
## 17 転倒転落発生率

## 指標の説明

入院患者が転倒・転落した場合の発生の程度を表しています。

## 計算式

入院患者に発生した転倒転落の件数(レベル1~5の合計) ÷ 入院患者延べ人数 × 1,000(‰)



## 考察

日本病院会QIプロジェクト臨床指標によると、令和4年度の転倒転落発生平均率は2.82‰となっており、当院での発生率は同程度となっています。当院では環境整備や入院時のアセスメント評価、職員への医療安全研修などを行い、転倒転落の防止に努めています。

## 18 褥瘡推定発生率

## 指標の説明

入院中に新しく褥瘡発生した患者数の割合を評価しています。発生がなければ低い割合となります。

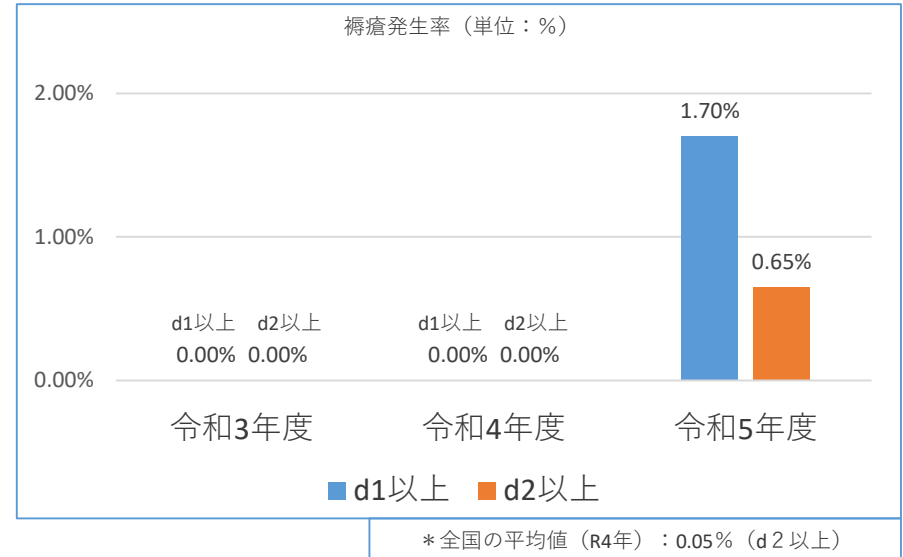
d1: 皮膚が発赤の状態で見え、d2: 皮膚が破綻して真皮までの状態での見え

\*看護協会DINQLと同様の評価方法

## 計算式

褥瘡推定発生率:  $A \div B \times 100$

A: 1年間で新規の褥瘡を生じた患者数 B: 1年間の病棟の実入院患者数



## 考察

入院時に必ず患者さん全員に褥瘡評価を行い、発生予防に努めています。褥瘡の発生リスクの高い方への予防として、ベットマットの選択、体圧測定の実施、栄養評価等も行っています。

令和5年度から褥瘡の判断基準が変わり、d1の発赤は「皮膚トラブル」から「褥瘡」と判断した事で増加しました。d2については3名の患者様がいましたが1人は処置にて改善しました。2人については、終末期の患者様で状態が悪化していたため褥瘡予防を行いました改善されませんでした。

## 19 栄養指導件数

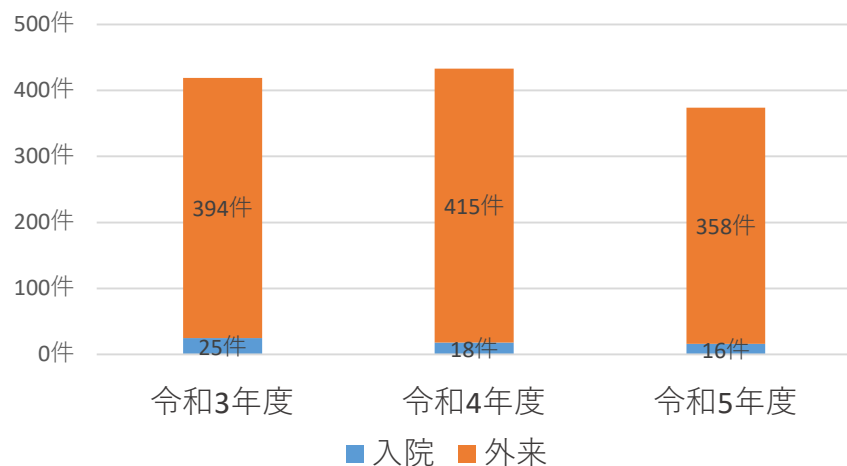
### 指標の説明

外来受診患者へ栄養指導を実施した件数及び入院患者へ栄養指導を実施した延べ件数を表しています。

### 計算式

入院指導件数＋外来指導件数の合計  
(非算定を含む)

栄養指導件数（単位：件）



### 考察

令和5年度に減少した要因には、入院では、認知症を有する患者さん本人への指導が難しい場合は、家族に同席していただいておりますが、家族が同席できず実施できなかったというケースがありました。外来では、治療を自己中断し、栄養指導も実施出来なかった患者さんがいました。また、検査データの改善がみられた患者さんが転勤や施設へ入所となり、栄養指導の介入を終了したケースが数件ほどあったためと考えます。

## 20 薬剤管理指導数

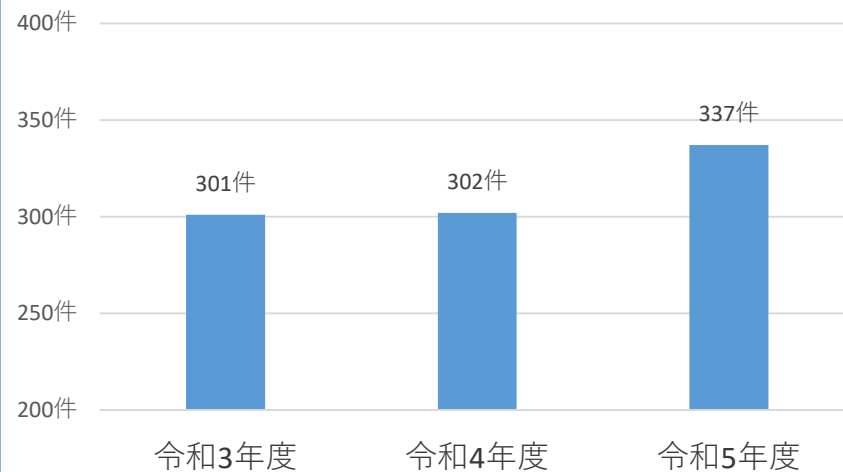
### 指標の説明

入院患者さんの使用している薬について、患者や家族などに薬剤師が説明を行った件数を表しています。

### 計算式

薬剤管理件数の合計

薬剤管理件数（単位：件）



### 考察

令和5年度にかけて入院患者数が増加しているため、薬剤管理指導件数も合わせて増加している状況です。今後も患者さんへの丁寧な説明及び指導が適宜行えるよう取り組んでまいります。

## 21 検査件数

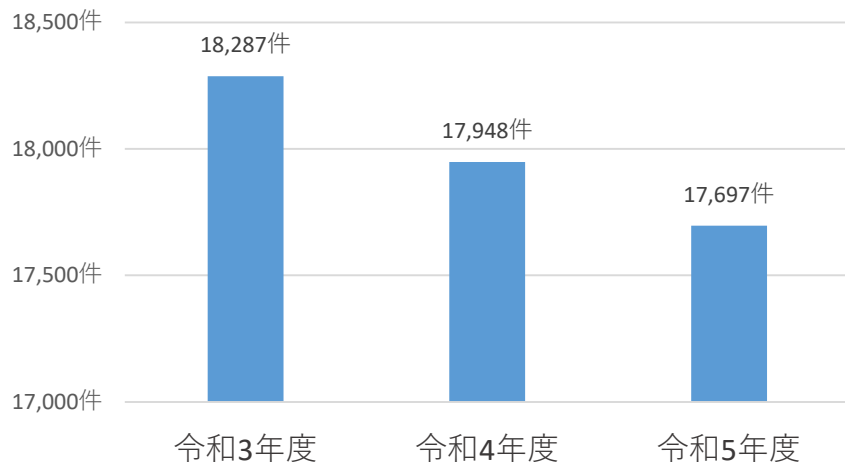
### 指標の説明

外来及び入院患者に対して検査した件数を表しています。

### 計算式

検査件数の合計

検査件数（単位：件）



### 考察

令和5年度は、前年度に比べて検査件数が減少しました。前年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、抗原検査が多かったが、令和5年度は、5類に移行したこともあり同検査が減少したことが一因と考えられます。

## 22 一般撮影件数

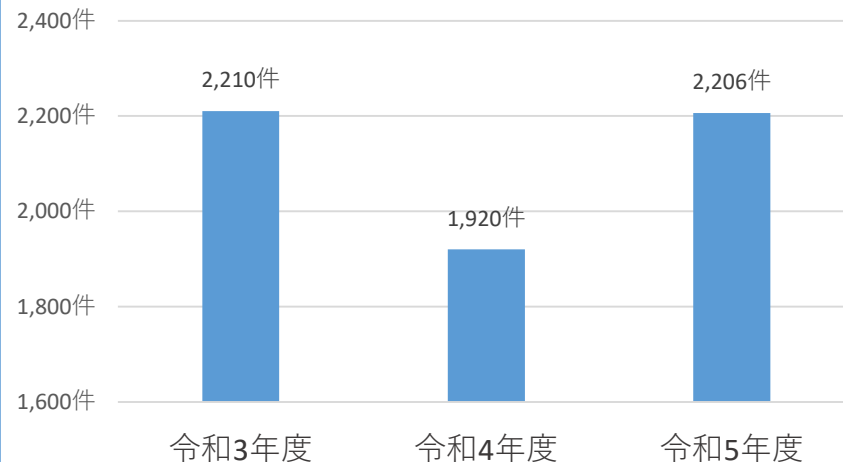
### 指標の説明

外来及び入院患者に対して一般撮影した件数を表しています。

### 計算式

一般撮影件数の合計

一般撮影件数（単位：件）



### 考察

令和5年度から、整形外科医師の派遣応援があり、整形外科の患者数が増加したため、一般撮影件数の増加に繋がっています。今後も、お待たせすることが無いように丁寧に検査してまいります。

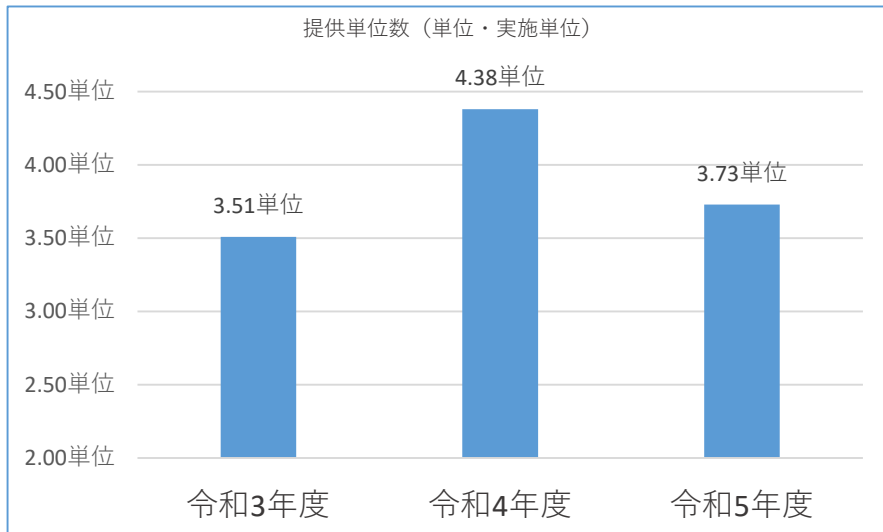
## 23 入院患者1人1日当たりのリハビリ実施単位数

### 指標の説明

入院患者1人1日当たりのリハビリ実施単位数を表しています。

### 計算式

入院患者1人1日当たりのリハビリ実施単位数の平均値



### 考察

令和3年度は職員4名、病床稼働率59.0%、令和4年度は職員5名、病床稼働率61.4%、令和5年度は職員6名、病床稼働率68.3%と令和4年度は提供単位数が前年度より増加し、手厚いリハビリを提供出来ました。令和5年度は病床稼働率が増加したことで、1患者毎の提供単位（介入時間）が減少する結果となりました。

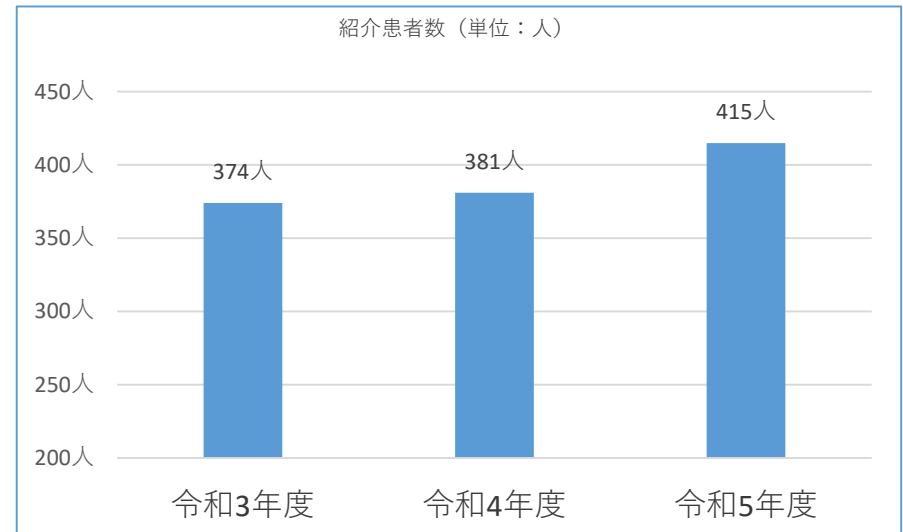
## 24 紹介患者数

### 指標の説明

他医療機関から当院に紹介された患者数を表しています。

### 計算式

紹介患者数の合計



### 考察

約6割が大崎市民病院本院からの紹介された患者さんとなっておりますが、鳴子温泉及び岩出山地域の医療機関からも多く紹介していただいております。

## 25 レスパイト入院件数

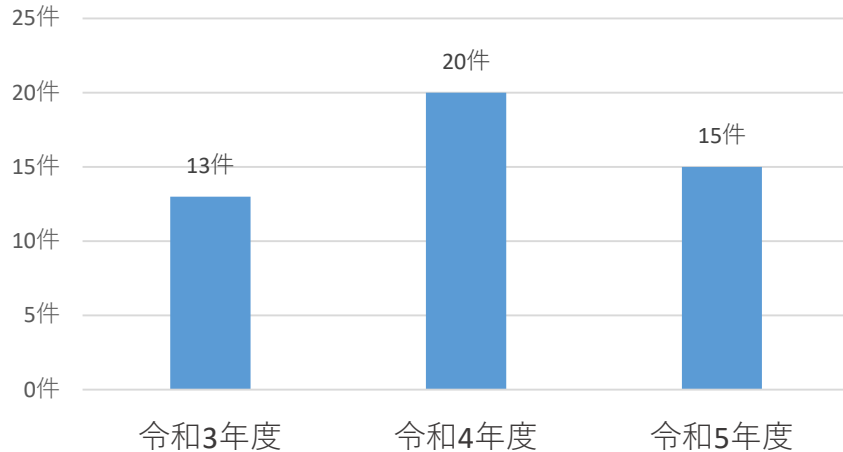
### 指標の説明

在宅で介護を受けている方やご家族・介護者の休養を目的とした短期入院の件数です。介護者の事情等により一時的に自宅での療養継続が困難となった場合にもご利用いただけます。

### 計算式

レスパイト入院件数の合計

レスパイト入院件数（単位：件）



### 考察

鳴子温泉及び岩出山地域はショートステイの事業所も少ないためレスパイト入院のニーズも多い状況です。繰り返しの入院により利用日数が合計60日を越えるような場合には一旦3か月の間隔をあけていただく必要があります。

## 26 訪問診療件数

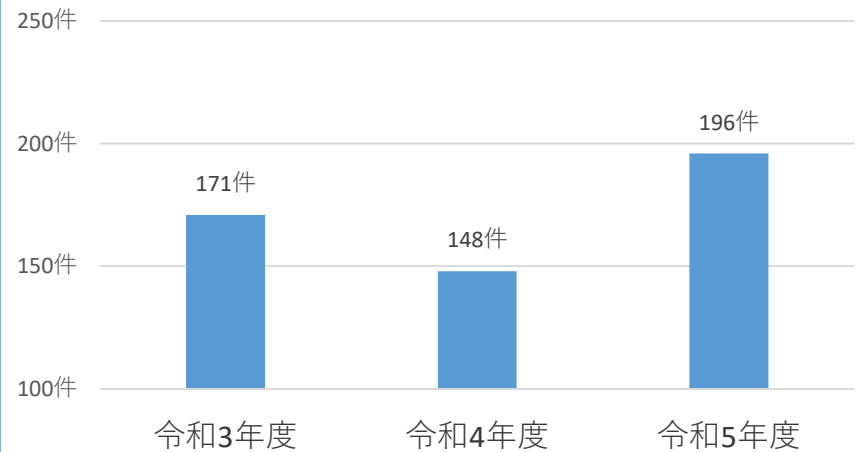
### 指標の説明

訪問診療の実績件数を表しています。

### 計算式

訪問診療実施件数の合計

訪問診療件数（単位：件）



### 考察

常勤医師増員による診療提供体制の充実により、令和5年度実施件数は伸びている状況です。これからも地域の在宅における医療ニーズに可能な限りお応えしてまいりたいと考えております。

## 27 訪問看護件数

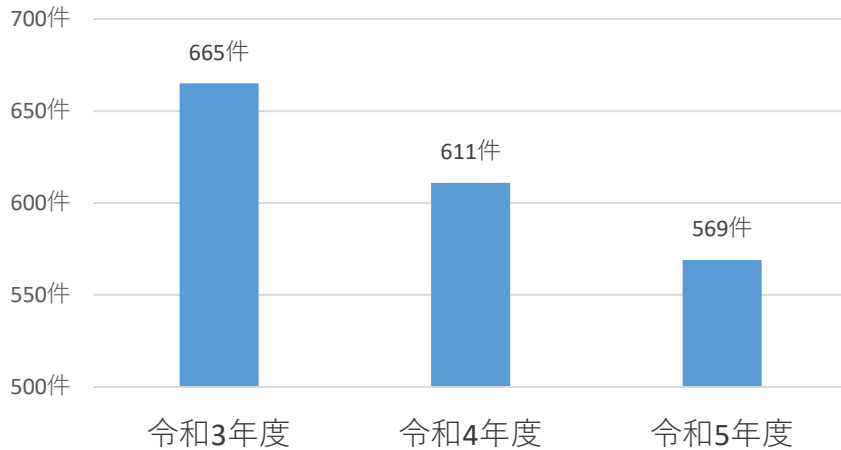
### 指標の説明

訪問看護の実績件数を表しています。

### 計算式

訪問看護実施件数の合計

訪問看護件数（単位：件）



### 考察

地域の人口減少や在宅介護力の低下から施設入所などにより、対象者数が減少していると考えます。

当院ではこれからも、住み慣れた自宅で安心して暮らせるように他職種と連携し、在宅生活をサポートしてまいります。

## 28 訪問リハビリテーション件数

### 指標の説明

訪問リハビリテーションの実績件数を表しています。

### 計算式

訪問リハビリテーション実施件数の合計

訪問リハ件数（単位：件）



### 考察

令和5年11月から開始したため、実績はまだ少ない状況となっています。退院から自宅での生活が円滑に行えるよう支援いたします。